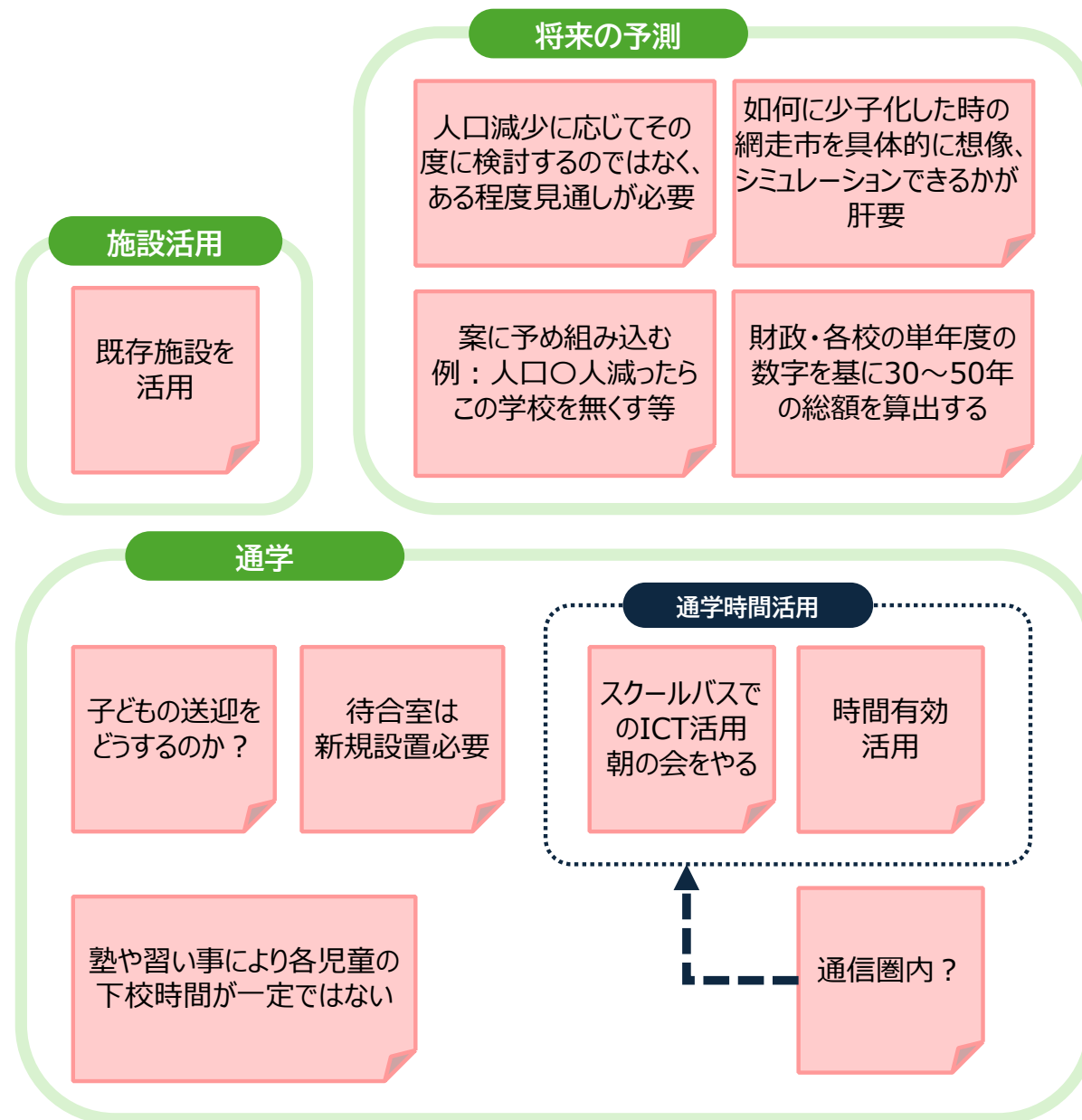


■ 1班 課題4



■ 2班 課題4

課題

人口減少

少子化

財政破綻

教育

小中一貫
教育定着化

小中一貫
教育を推進

通学時間の
問題

教職員以外の
教員体制の確保

学校の方向性

通学時間を考えると市街地
と郊外の方が良い

選択制通学
市街地と郊外

学校の配置が
決まらない

市街地と郊外の拠点
を組み合わせたい

市街地に義務
教育学校

郊外（例：東西）に
小規模特認校を設置
（希望になり、市街地に
通うことができる）

施設活用

既存施設の
改修・再利用

必要な機能

機能の
集約化

学校施設の近くに児童
クラブがあった方が良い
（同じ場所ならなお良し）

通学

学校を集約す
るため、スкуль
ルバスが必要

郊外から市街地
への移動はかな
りの負担となる。

費用

新たな施設の方が
使いやすい施設に
なるが、費用が高い

メリットとデメリット
の具体化

郊外の小中学生から未就
学児までの世帯に小規模
校または市街地の学校が
良いか等のアンケートを行う

■ 3班 課題4

情報

候補地

いま候補地は
あるのか

どこに
建てるのか

情報が少ない
学校ごとの事情が分からない
・登下校、送迎の事情など
・児童クラブ、児童館

登下校・送迎
バスなど実現可能か

学校の方向性

・新しく建てるのか
・既存の学校を使うのか

郊外校は
そのまま

小中一貫教育を推進
したうえで市街地に教
育機能を集約する

比較的新しい
学校への集約

市内は集約して
新しい校舎を

新たな施設
整備は必要

財政面

市としていく
らせるのか

通学

集約する場合の通学方法
・既存施設の活用
・小中一貫校で
スクールバス支援

児童館の集約
コミセンの利用

■ 4班 課題4

情報

統合しない
場合のコスト
比較

学校の方向性

市街地への集約
ではなく、選択肢
があった方が良い

将来の子どもたちが困ら
ないように現状でできる
ことを進めるしかない

通学

スクールバスの関係から
市内と郊外を一緒にす
るのは難しい

交通手段は
1番重要

市内と郊外では
通学時間の不平
等が大きい

保護者の
負担軽減

施設活用

既存施設を
十分に活用

学校現場から
の意見・ビジョン

■ 5班 課題4

学校の方向性

市街地・郊外
分けて考える

市街地は集約
郊外はそのまま

郊外の学校は
存続

郊外はそのまま
時間や早退等の
対応が難しい

市街地は小学生の通学
負担に配慮し、小学校は
残すが、中学校を統合

小中学校は
分けるべき

小中学校は
別が望ましい

中高一貫
教育の推進

どんな家庭にも
困ることのない通
える体制とは？

理想と財政の
バランス

通学

市街地
統合した場合、登校
場所は変えず、バスの
発着点として利用

通学支援
小学生：4km
中学生：5km
毎日は大変であるため、
バスは必須

施設活用

既存施設活用
小規模改修をして
利用